

徐脈に対する シロスタゾール の使用について

実施内容	徐脈に対して心拍数の増加を目的として、シロスタゾールを経口投与する。
対象患者	・ 洞不全症候群などにより徐脈を認める患者 ・ ペースメーカー植込みまでの待機期間に心拍数の改善が必要な患者 ・ ペースメーカー治療の適応とならない、または実施が困難で、薬物治療が適当と判断された患者
承認日	2026年7月8日（承認外医薬品使用評価委員会 承認）
実施期間	承認日以降、継続的に実施する
目的・概要	徐脈は、心拍数の低下により十分な心拍出量が維持できなくなることで、めまい、失神、倦怠感などの症状や日常生活動作の低下を引き起こすことがある。シロスタゾールは、主として慢性動脈閉塞症や脳梗塞再発予防に使用される薬剤だが、ホスホジエステラーゼⅢ（PDE3）阻害作用により心拍数を増加させる作用を有することが知られている。国内外の報告では、洞不全症候群などの徐脈性不整脈に対して症状改善や心拍数増加を目的として使用されることがあり、ペースメーカー植込みまでの橋渡し治療や、ペースメーカー植込みが困難な患者に対する治療選択肢の一つとして用いられている。
予想される 不利益と対策	【予想される不利益】 ・ 動悸、頻脈 ・ 頭痛 ・ 血圧変動 ・ 消化器症状（下痢、腹痛等） ・ 出血傾向（抗血小板作用による） ・ まれに重篤な不整脈 【対策】 ・ 心拍数および血圧を定期的に測定し、循環動態を評価 ・ 必要に応じて心電図検査を実施 ・ 出血症状の有無を観察し、抗血栓薬との併用時には慎重に管理 ・ 副作用が認められた場合は減量または中止し、適切な治療を実施
■ 問い合わせ先	イムス葛飾ハートセンター TEL：03-3694-8100（代表） （受付時間：平日 9:00～17:00）